

障害学生支援 Q&A



障害学生支援に関するQ&A

ここでは、大学における障害学生支援について、よく聞かれる疑問や現場からの声を取り上げ、Q&Aの形で対応や考え方について紹介していきます。



Q1. 「合理的配慮」って言葉、分かりにくい…

A1.

『合理的配慮』とは「Reasonable Accommodation」の和訳語です。

「Reasonable」は「適理的」とも和訳できるように、自分と（目的を異にする）他者のいずれから見ても「理に適っている」ことを意味します。学生個人のニーズを満たし、かつ提供側にとっても過重な負担にならないことが「合理的」である条件となります。

そして、「Accommodation」は「配慮」と和訳されていますが、原義的には「調整・和解・便宜」と解釈した方が分かりやすい言葉です。

したがって、上記の合理性を満たす形としての環境の変更・調整が『合理的配慮 (Reasonable Accommodation)』の意味する内容と考えることができます。



参考: 三重大学障がい学生支援セミナー2019『障害学生支援における合理的配慮のポイント』(講師: 船越高樹先生)



Q2. 合理的配慮って特別扱いではないの？

A2.

合理的配慮は特別扱いではなく、障害や疾患等による心身の機能制限（できないこと・苦手なこと）がある学生に対して、修学の妨げとなっている社会的障壁を除去することによって、（他の学生と同じように）教育を受ける機会を保証するために提供するものです。

「特別扱い」というと、他の学生と区別して扱う意味合いが含まれますが、合理的配慮はむしろ他の学生と同じように教育を受けることができたり、情報や施設にアクセスして利用できることを目指す制度であり、そのために環境を整えたり、授業での設定や運営方法を変更・調整することを指します。

また、合理的配慮は、学生と大学（の教職員）の双方の建設的な対話に基づき、お互いが納得・合意した形として提供されるものです。場合によっては提供が難しい要望も出てきます。その時は無理に応じるのではなく、学生本人に実施できない理由をきちんと説明し、お互いに納得できる配慮内容を一緒に考えていくことも可能です。

“他の学生と同じように教育を受けられるよう”、“特別ではなくできる形で”行うのが合理的配慮ということが出来ます。



障害学生支援に関するQ&A

ここでは、大学における障害学生支援について、よく聞かれる疑問や現場からの声を取り上げ、Q&Aの形で対応や考え方について紹介していきます。



Q3. 大学教育の質の確保と合理的配慮の兼合いはどのように考えればいい？

A3.

教育の質保証と合理的配慮のバランスを考えるにあたって重要なポイントが「本質変更不可(の原則)」です。

大学教育の質保証が求められる昨今、大学・学部教育・授業のそれぞれのレベルにおいて「何を目的とするか・どのような内容を行うか・修得をどのように評価するか」に関する教育の本質が存在し、それらは3つのポリシーや授業のシラバスに示されています。

そのような教育の核となる部分を変えずに、修得するための「手段や方法」あるいは評価の「方法」(例:対面/オンラインでの授業形態、グループディスカッション、筆記試験、レポート、プレゼン)のうち、本質以外の部分を変更・調整することが合理的配慮の適切な形となります。

逆に、本質的な部分が不明確であったり、ポリシーやシラバスに明記されていない場合、何を变えたらよいかの判断ができなくなり、配慮を求めたい学生にとっても何をどこまで申し出ればいいか分からなくなってしまいます。教育の本質がどこにあるかを大学や教職員がしっかりと自覚し明示することは、障害学生支援に限らない不可欠な要素ではないでしょうか。



Q4. 他大学で行われている支援事例ってどのように参考にすればいい？大学によって規模やリソースが全然違うので比較・参照が難しい…

A4.

例えば、支援や配慮内容が(体制面・財政面において)過重負担かどうかの目安の一つに、大学の規模(在籍する学生数)があります。つまり、大学規模が同程度の他大学で実施されている支援や配慮ならば、提供できうるものとして参考にすべき内容となり、逆に自分の所属大学よりも規模が大きな大学で実施されている内容(特に物品購入や施設整備)を実施しようとすると、それは過重な負担になる可能性があるということです。

ただし、大学規模以外にも、他の学生との機会平等を失する内容にならないことや本人の意向を尊重するものであること、本来の業務を超えた内容にならないこと、上のA3のような本質を変更するようなものでないことが、合理的配慮を考える際に重要なポイントとなるため、それらを総合的に判断し、取り入れられるものは実践に取り入れるべきだと考えることができます。

